

# 寝屋川市長がタウンミーティング 市民の事情▽行政の都合

広瀬慶輔寝屋川市長が市内各地域を回り、市民と直接対話をするタウンミーティングが今秋からスタートした。



広瀬慶輔寝屋川市長

2019年、広瀬市長就任時からこの取り組みが始まったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中断。約3年ぶりの開催となる。だれでもが自由に参加できるタウンミーティングは、地域ごとに10月中旬から11月中旬にかけて全6回開催される。市長が市民の声を直接、聴くことで、地域

の課題や要望を把握し、市政運営の参考にしている。反映する。

10月19日（水）19時から寝屋川市西南コミュニティセンターに老若男女の市民が次々に参集。対座する市長に向けて手が上がる。「地域猫の手術費用」、「空き家の倒壊問題」、「子どもの学校生活環境」、「河川や空き地のゴ

ミ」、「障がい者や高齢者の駐輪場対策」、「生活保護者や子どもを取り巻く実態」、「交通弱者による買い物難民」、「子どものコロナ感染症対策」、「自治会の存続意義」、「地域での子育て環境」、「萱島駅前広場の今後」…など意見や要望が市長に投げかけられた。ぶっつけ本番の多岐にわたる内容にも、よどみなく真摯に答えていく市長。あっという間に充実した1時間過ぎた。

今回のタウンミーティングのテーマは「市

民の事情▽行政の都合」。「私は市民の税金を頂き市政を担うプロとして働いています」と明言した市長。ちなみに、大手住宅ローン専門金融機関が8月に実施した「本当に住みやすい街大賞2022 in関西」に寝屋川市が2府4県中、8位にランクインした。



市民の意見は熱気を帯びて